

乗鞍岳の火山活動解説資料（平成 24 年 8 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1）

乗鞍高原（乗鞍岳の東北東 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、今期間、噴気は認められませんでした。

・ 地震活動（図 2－①、図 3※）

11 日から 13 日にかけて乗鞍岳の北約 5 km 付近を震源とする地震が増加しました。この間、震度 1 以上を観測する地震が 4 回発生し、最大の地震は 12 日 22 時 06 分に発生したマグニチュード¹⁾ 3.7 の地震で、岐阜県高山市で震度 2 を観測しました。それ以外の期間では地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

1) マグニチュードは地震の規模を示します。資料中のマグニチュードは暫定値で、後日変更することがあります。

・ 地殻変動の状況（図 2－②※③※④※）

GPS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。



図 1 乗鞍岳 山頂部の状況
（8 月 26 日 乗鞍高原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 9 月分）は平成 24 年 10 月 9 日に発表する予定です。

※この記号の資料は気象庁のほか、国土地理院、京都大学、名古屋大学、東京大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『2 万 5 千分 1 地形図』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

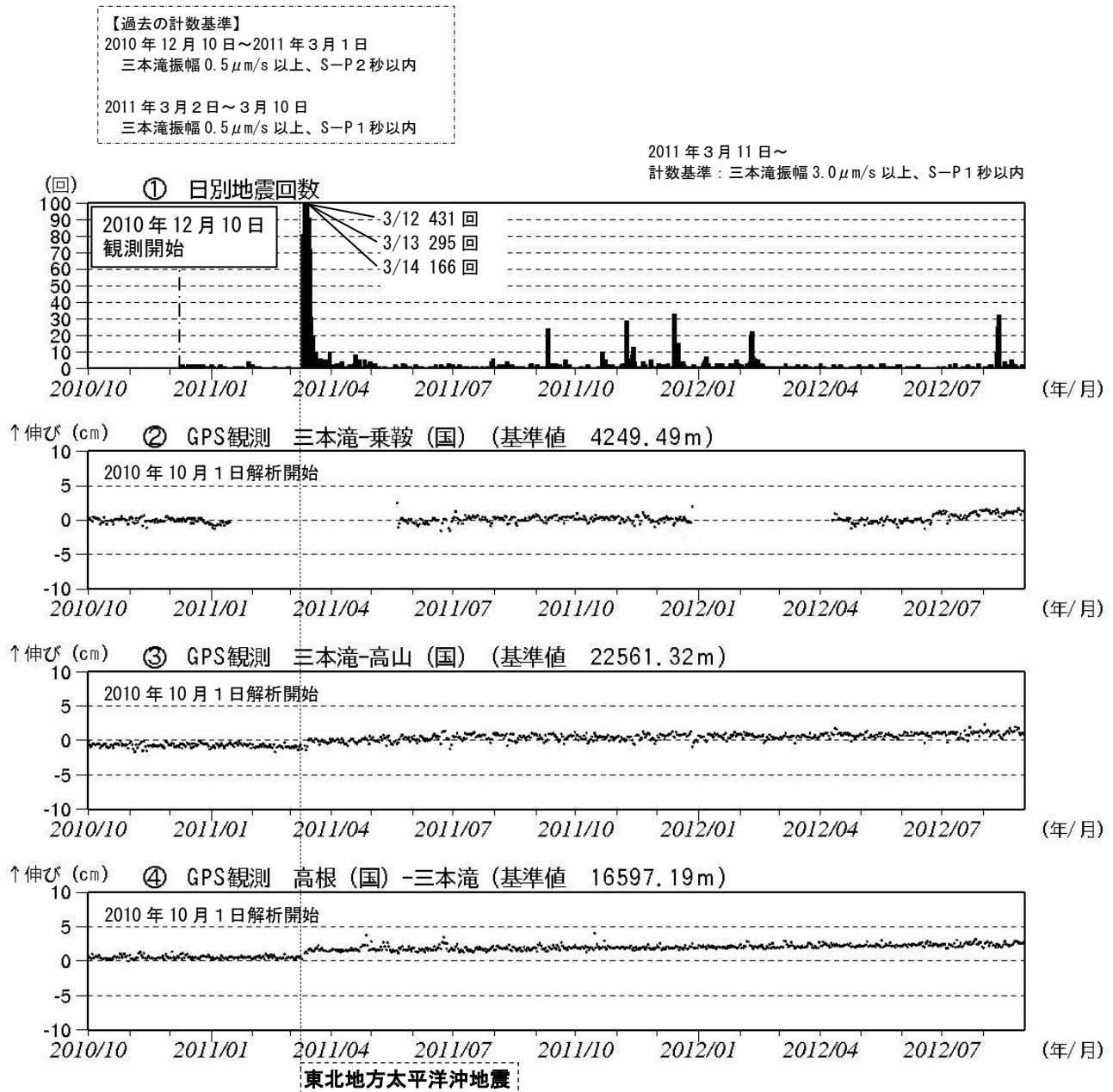


図 2 乗鞍岳 火山活動経過図

①：乗鞍岳周辺の日別地震回数（2010 年 12 月 10 日～2012 年 8 月 31 日）

②※③※④※：GPS 連続観測による基線長変化（2010 年 10 月 1 日～2012 年 8 月 31 日）

（国）：国土地理院

③※④※の基線には、東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）に伴うステップ状の変化がみられます。

②※～④※は図 4 の GPS 基線②～④に対応しています。

②※グラフの空白部分は欠測を示しています。

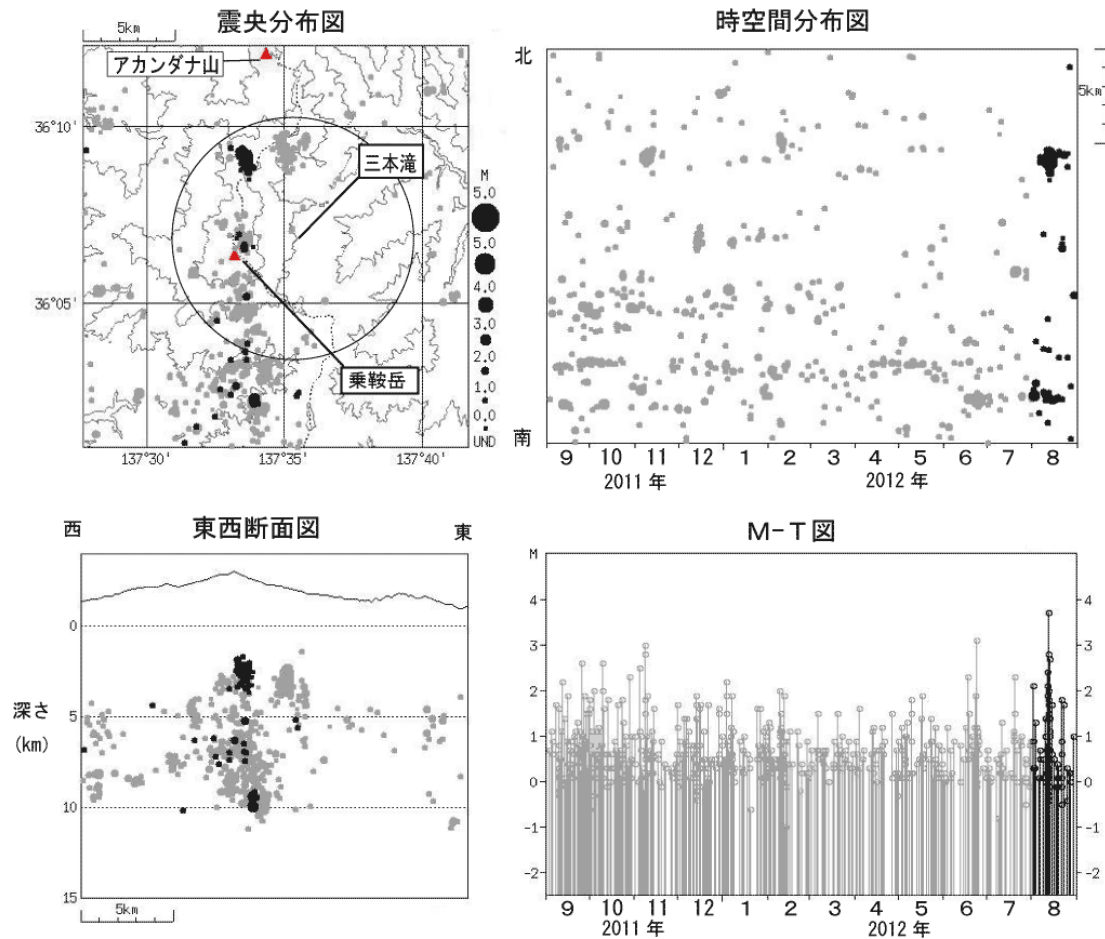


図 3※ 乗鞍岳 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011 年 9 月～2012 年 8 月)

● : 2011 年 9 月 1 日～2012 年 7 月 31 日 ● : 2012 年 8 月 1 日～8 月 31 日

震央分布図中の円は図 2 の計数対象地震（三本滝で S-P 時間 1 秒以内）のおよその範囲。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

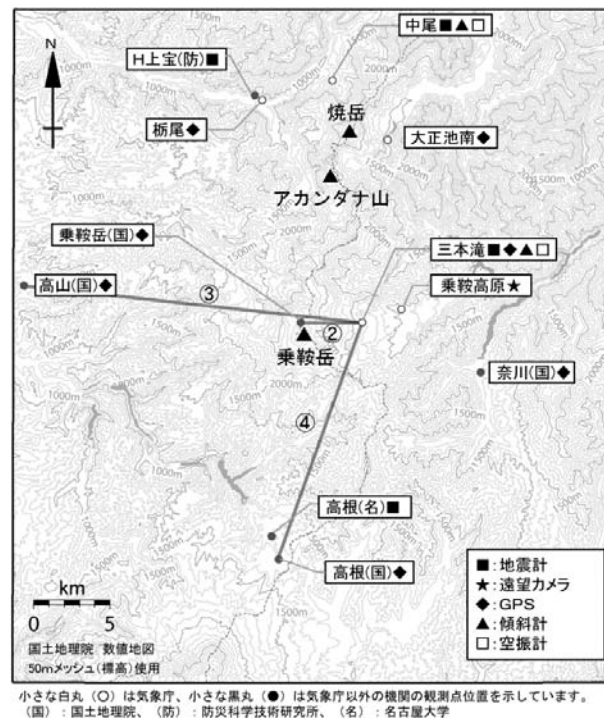


図 4 乗鞍岳 観測点配置

GPS 基線②～④は図 2 の②※～④※に対応しています。